

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 組織透明化技術「CUBIC」を用いたヒト皮膚組織の3次元イメージング
	●研究の対象 ・2015年1月～2025年5月に当院皮膚科で皮膚生検を行った方 ・研究番号20-104「皮膚疾患における生体試料レジストリの構築」に参加登録された方のうち、2025年6月～2027年12月に当院皮膚科で皮膚生検を行う方
	●研究の目的 皮膚の病理組織診断は、臨床診断を裏付けるための根拠として必須となる手法です。しかし、現在用いられている標準的な方法は皮膚生検で採取した皮膚組織の1つの断面を薄切りして2次元的な組織の観察をするのみで、3次元構造を理解するには限界があります。特に、皮膚は汗腺、毛包、血管などの立体的で複雑な構造をもつ器官が多数存在し、皮膚の病的な変化の過程でこれらの構造や機能の変化に注目する必要がある疾患があります。 組織を3次元的に解析するための技術として、CUBICという、組織を透明化して塊の状態を観察する手法がありますが、この技術は現状では主に動物の臓器を対象としているため、ヒトの組織に応用した報告はまだ限られています。また、ヒトの皮膚は特に透明化が難しいメラニンが豊富に含まれているため、よりクリアに3次元解析するのが困難です。 このため、この研究では、CUBICによる組織透明化技術を用いてヒト皮膚の透明化に最適なプロトコルを確立し、皮膚疾患の病態解明に役立てることを目的としています。
	●研究の期間

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	研究機関の長による実施許可日から 2027 年 12 月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する試料・情報 情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、血液検査結果、カルテ番号、病理検体番号 等 試料：皮膚組織検体
《利用する者の範囲》	●機関名および責任者名 浜松医科大学 皮膚科学講座 本田哲也
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	国立大学法人 浜松医科大学
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。
《資料の入手または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたのご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 皮膚科学講座 担当者： 森本広樹 TEL： 053-435-2303 E-mail： morimoto@hama-med.ac.jp